

平成26年度(平成25年度決算)事業評価シート(半田市議会)

委員会名 建設産業委員会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	商工業・サービス事業 (持続可能な事業を行う事業者が増えて、市民生活の利便性が向上しています。商店街が地域に必要とされるサービス機能の充実に取り組み、コミュニティの担い手として期待が高まっています。中心市街地の活性化が進み、まちの利便性が向上しています。)	部課等名	市民経済部商工観光課	評価表 整理No.	11-005 11-009 11-010
事務事業名	商工業振興事業 中心市街地活性化推進事業 中心市街地活性化にぎわい事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント	
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		53	○クラシティの賑わい復活が知多半田駅前 の復活のシンボルである。 ○知多半田駅前地域のコミュニティが失われ つつある現状をふまえて、コミュニティの 再生に取組むべき。
	②有効性が高い(69~84点)			
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)	○		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)			
	⑤有効性が低い(21~36点)			
	⑥有効性がない(0~20点)			
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント	
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		20	○そもそもクラシティ半田4F、5Fの駐 車場の利用しにくさは問題である。 ○商店街のために集中をするのではなく、 地域住民との連携を深めるまちづくりの 観点での施策を考えるべきである。 ○3年以上前から、知多半田駅前にうどん 屋など定食屋を誘致しなければいけない、 と言っていたが、うどん屋一つ誘致する ことが出来なかった。まずは必要な店舗 を誘致することが基本と考える。 ○成果を出せるような空き店舗対策とは なっていない。
	②改善の余地は少ない(69~84点)			
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)			
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)			
	⑤改善の余地は多い(21~36点)			
	⑥改善の必要がある(0~20点)	○		
評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント	
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		60	○地域住民のやる気で決まることである。 どうすれば地域住民がやる気になるかは 考えなければならない。 ○中心市街地の住民や商店が住みやすく 活動しやすいようにバックアップをすべき である。
	②妥当性が高い(69~84点)			
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)	○		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)			
	⑤妥当性が低い(21~36点)			
	⑥妥当性がない(0~20点)			

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<p>○クラシティ半田4F5F駐車場の利用者負担を減らす仕組みを作る。</p> <p>○商店街のみではなく、地域住民とも連携をして地域住民がやる気になるまちづくりの観点で進める。中心市街地で産業祭を行うなど発想の転換が必要。</p> <p>○市役所と商工会議所と商店街、まちづくり会社のそれぞれやるべき範囲と責任が不明確になっている。明確にすべき。また3者がどのように連携をするかも考えるべき。</p> <p>○うどん屋や定食屋などニーズの高い店舗を一つ一つ誘致する地道な努力が必要である。</p> <p>○中心市街地が医療タウンとなってしまった今、中心市街地は知多半田駅前でなければいけないのか、青山駅前へ変更するなど、そもそもの戦略の検討が必要。</p> <p>○クラシティはコミュニティの担い手としては役割を果たしていない。今後、どのような位置づけで支援をするのか明確にすべき。</p>
予算提案	<p>○クラシティ半田の1Fと2Fは民間で行っていることであるから、クラシティ再生は民間活用も考慮し予算を再考すること。</p> <p>○中心市街地の駐車場や空き地解消に向けて、土地の有効活用促進の為に、税の減免制度など対策を講じること。</p>
少数意見	